

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和5年度実績報告書

令和6年7月29日

福岡県新宮町

【はじめに】

1 総合戦略の位置付け

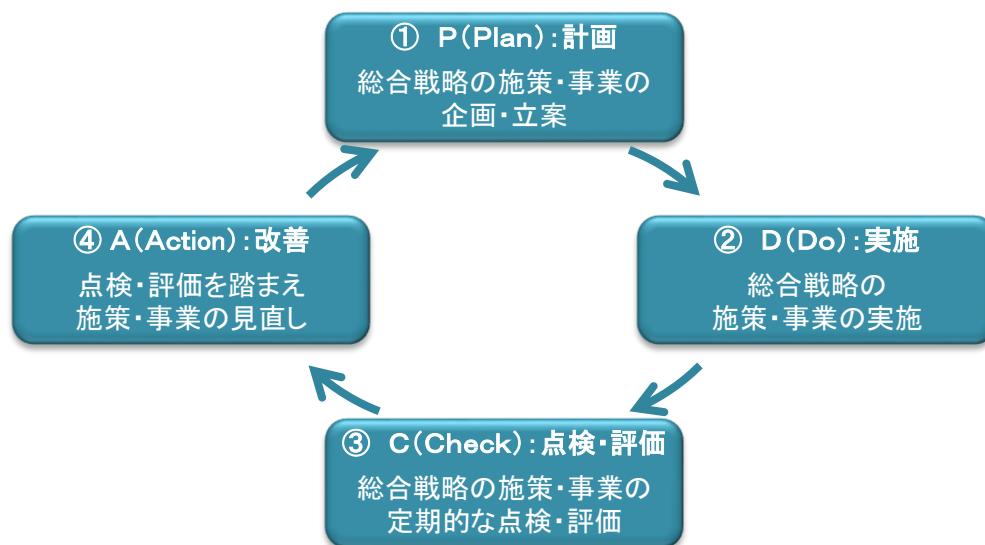
第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「新宮町総合戦略」という。）は、新宮町人口ビジョンにおいて提示する将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、新宮町における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年（令和6（2024）年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものとして策定しました。

令和7（2025）年度においては、現在の事業の進捗状況がコロナ禍からの回復期であり、取り組んでいる事業の継続性の観点から新宮町総合戦略の目標年度を1年間延長します。

また、令和8（2026）年度からは、国が既存の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に見直して策定した「デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和4年12月23日閣議決定）」を勘案した「（仮称）新宮町デジタル田園都市国家構想総合戦略」により、地方の個性を活かしながらデジタルの力によって地方創生の取り組みを加速化・深化させるとともに、新宮町総合戦略を継承しながら、新宮町総合計画の理念と計画期間と一体化を図ります。

2 施策検証について

国の総合戦略における政策4分野ごとに設定した数値目標や国の各政策分野の具体的な施策ごとに客観的な重要業績評価指標（目標値）を基に、実施した施策・事業の効果を外部有識者などの参画により検証し、必要に応じて新宮町総合戦略の改訂を行うことにより、PDCA サイクル※を確立させ、適切な進行管理を行うこととしています。



※PDCA サイクルとは、Plan（計画）、Do（実施）、Check（点検・評価）、Action（改善）のプロセスを実施し、最後の改善（A）では評価（C）の結果から、最初の計画（P）の内容を継続・修正・破棄のいずれかにして、次回の計画（P）に結びつける。このらせん状のプロセスを繰り返すことにより、品質の維持・向上及び継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

3 持続可能な開発目標（SDGs）について

SDGs (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS) は国際社会全体の普遍的な目標で、「誰一人取り残さない社会」の実現を目指し、「経済」「社会」「環境」をめぐる広範囲な課題に対して統合的に取り組むもので、令和 12（2030）年を期限とする包括的な 17 の目標と、目標を達成するための 169 のターゲットで構成されています。

新宮町総合戦略においては、SDGs の理念に沿って地域活性化の取組を行い、持続可能なまちづくりをめざしていきます。



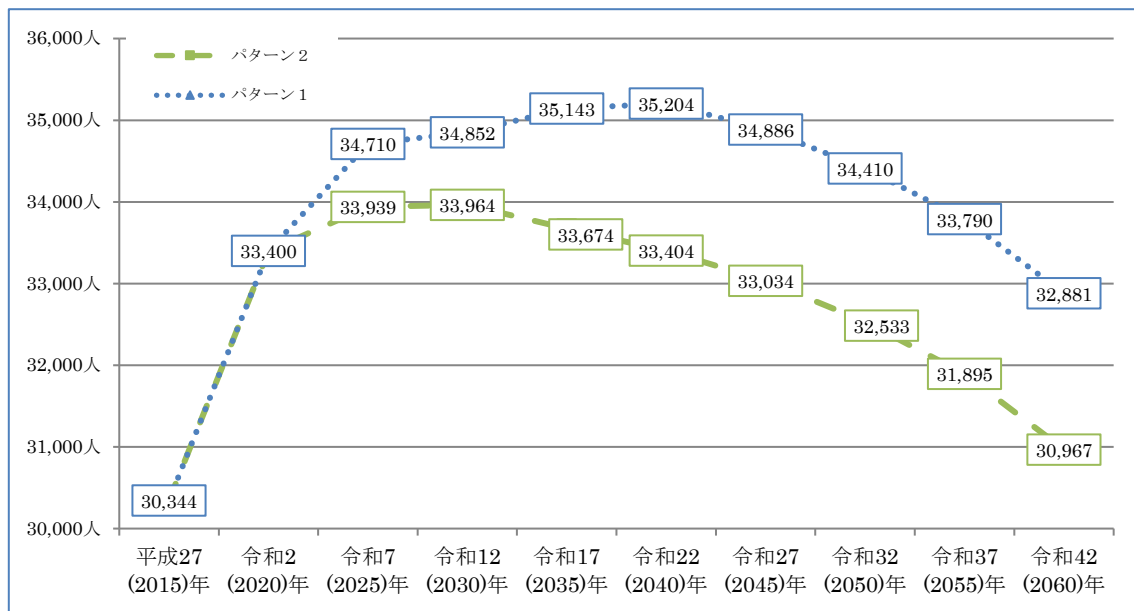
【人口目標及び現状】

1 人口目標について

第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、将来にわたって活力ある地域社会を維持するために、出生率の向上と大幅な開発後も転入と転出が概ね均衡を保つよう各施策に取り組み、令和42(2060)年においても人口が32,000人を確保することを目的としています。

2 人口ビジョンと人口実績の比較

人口ビジョンと人口の実績の比較では、令和2(2020)年においては人口ビジョンのパターン1(※1)パターン2(※2)よりも増加していましたが、令和5(2023)年においては、令和2(2020)年よりも減少し、パターン2よりも低位で推移しています。



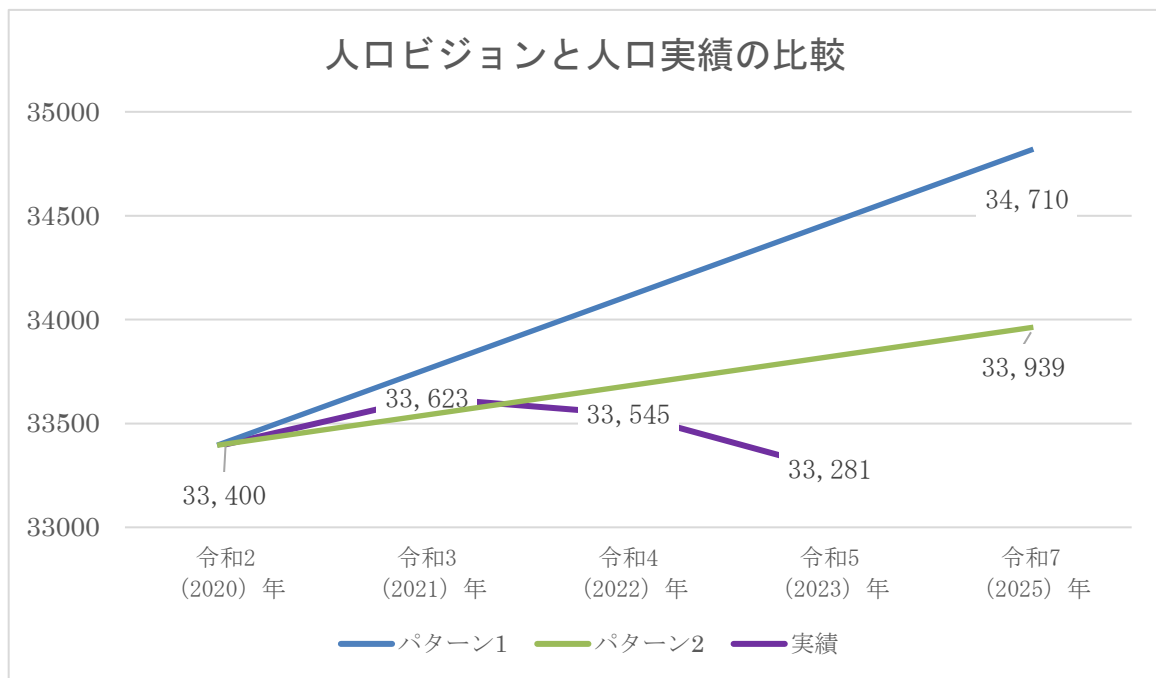


図1 人口ビジョン及び人口比較

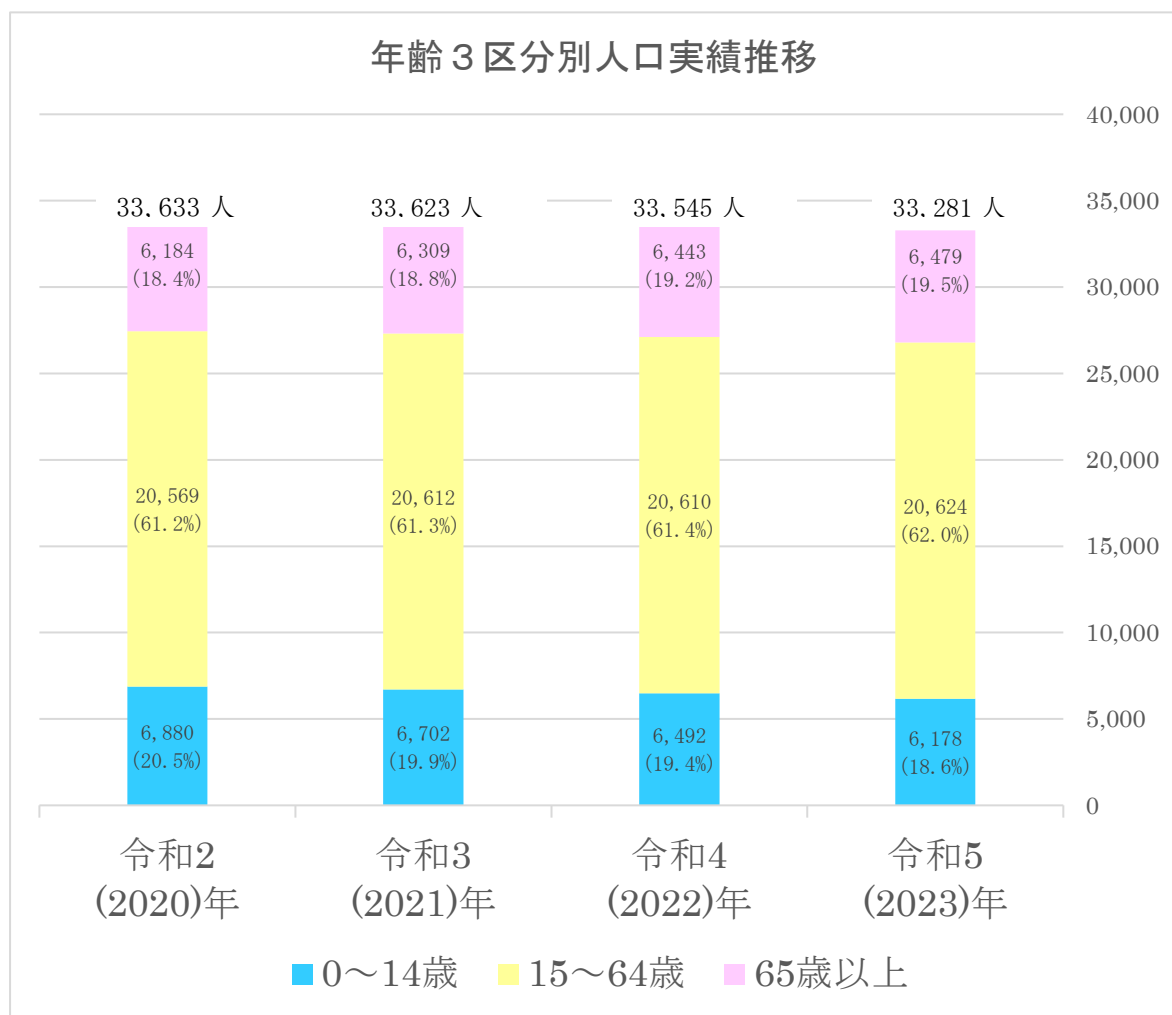
※1：「パターン1」は合計特殊出生率が平成27(2015)年度の1.80から段階的に増加し、令和22(2040)年までに人口置換水準2.07を達成しながら、開発に伴う転入超過傾向が維持される場合の想定。

※2：「パターン2」は合計特殊出生率が平成27(2015)年度の1.80から段階的に増加し、令和22(2040)年までに人口置換水準2.07を達成する一方、開発に伴う転入超過を見込まない場合の想定。

3 年齢3区分別人口による人口ビジョンの比較と推移

年齢3区分別人口の比較では、年少人口の減少に伴う人口減少が顕著となっています。

年齢区分	令和2 (2020)年		令和3 (2021)年	令和4 (2022)年	令和5 (2023)年	令和7 (2025)年	
パターン	パターン1 パターン2	実績	実績	実績	実績	パターン1	パターン2
0～14歳	7,073	6,880	6,702	6,492	6,178	6,766	6,507
15～64歳	20,346	20,569	20,612	20,610	20,624	21,306	20,845
65歳以上	5,981	6,184	6,309	6,443	6,479	6,638	6,587
合計	33,400	33,633	33,623	33,545	33,281	34,710	33,939
0～14歳	21.2%	20.5%	19.9%	19.4%	18.6%	19.5%	19.2%
15～64歳	60.9%	61.2%	61.3%	61.4%	62.0%	61.4%	61.4%
65歳以上	17.9%	18.4%	18.8%	19.2%	19.5%	19.1%	19.4%



【基本目標ごとの実績】

＜基本目標１＞

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

（方向性）

新宮町総合戦略では、立地条件や労働力などの強みを活かし、課題を克服することにより、新たな企業誘致を推進していくとともに、既存の企業や商店のＰＲや育成にも取り組んでいきます。

また、農林漁業については、豊かな自然資源と好立地を活かした販路の拡大や担い手の確保にも取り組んでいきます。

地域産業の育成・活性化により、町内に雇用を創出し、町外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を創り、持続可能な「まち」の活性化を図っていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
町内事業所 数（件）	1,155	1,250	1,282	1,327	1,378	1,421	1,200	1,500

（資料：市町村税課税状況等の調査 法人税納税義務者）

＜基本目標２＞

地域への新しいひとの流れをつくる

（方向性）

地域ごとに異なる課題に対応するため、それぞれの特性を踏まえた施策を進めます。人口増加地域においても、将来的なＵＩＪターンにつながる地域への愛着の形成や地元就職などの促進、シティプロモーション活動を図っていきます。

人口減少地域においても、個別の現状を踏まえて定住化を図り、様々な世代や来訪者との交流の場づくりを含め、新しい人の流れを生み継続させる仕組みや環境づくりを検討し進めていきます。

さらに、観光客や来訪者に向けた周遊の仕組みなどを提供し、地域経済の活性化を図る取組を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
平均日中 滞在人口 (人)	26,969	27,485	28,522	28,581	28,161	27,918 (速報値)	28,800	28,800

(資料：地域経済分析システム)

＜基本目標３＞

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

(方向性)

若い世代の経済的安定を図るとともに、妊娠・出産・子育てに対する支援や子ども・子育て支援の充実を図っていきます。また、家族が働きながら安心して妊娠・出産・子育てができるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図ります。

また、外国人が地域へなじむことができるよう、多言語による支援や地域との橋渡しができる体制の構築を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
合計特殊出 生率 (%)	1.90	1.86	1.78	1.75	1.72	1.71	1.94	1.94

＜基本目標４＞

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(方向性)

急速な人口増加により、都市構造が大幅に変化している中で、各地域の実情に沿った新しいコミュニティづくりを進めていくとともに、人口減少が進む地域においては、地域振興策の推進により、地域の魅力を高めていくことで、町民が将来にわたって安全・安心で豊かな生活を営むことができる町を構築していきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
自治会加入世 帯率 (%)	82.0	80.4	80.0	83.2	79.1	77.7	90.0	90.0

【基本目標ごとの施策】

＜基本目標１＞

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

施策－１ 地域経済を牽引する企業誘致・育成に資する取組

本町の交通利便性など好立地の環境を活かした、流通業務施設、商業施設などの誘致や立地を積極的に推進するとともに、誘致や立地に必要な環境づくりに努め、地域を牽引する企業育成を進めていきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・土地区画整理事業を推進している下府地区及び三代地区については、順調に工事を進めることができました。また、県の東京事務所や関係機関と土地区画整理事業についての情報発信や企業誘致に関する情報交換を行いました。
- ・スマートインターチェンジについては、令和６年秋の準備段階調査箇所決定に向けて関係機関と協議を行いました。周辺の土地利用計画についても、県と協議を進めました。
- ・企業版ふるさと納税で、３社より合計５２０万円の寄附があり、新宮町まち・ひと・しごと創生推進事業に活用することができました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
流通業誘致数 (件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (累積)	1 (累積)
商業施設誘致 数 (件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (累積)	3 (累積)
その他企業の 誘致数 (件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (累積)	1 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 中小・個人事業者の生産性向上に資する取組

本町の好立地を活かした企業の誘致や消費拡大を図るとともに、商工会との連携を図りながら、既存商店や事業所の活性化のため、情報交換の場を充実させ、魅力づくりを研究していきます。また、町内産品のPRや特産品開発の支援を進めていきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・特産品の開発について、過去に開発した商品に加え、令和５年度は、「あまおうソフト」の販売を行いました。また、相島活性化協議会と九州電力が共同で開発した相島の鮮魚を使用した「相島海幸棒ずし」の販売を引き続き行いました。
- ・企業振興協議会と商工会のそれぞれの総会において、情報交換の場を設け町内の求人・求職の情報を発信する仕組みを作りました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
特産品開発数 (品)	—	—	5 (5)	7 (2)	9 (2)	10 (1)	5 (累積)	12 (累積)
情報交換の場 の創設数 (件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (累積)	5 (累積)
販路拡大の件 数 (件)	—	—	1 (1)	3 (2)	6 (3)	7 (1)	10 (累積)	10 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－３ 創業や事業承継による地域産業の活性化に資する取組

地域経済の継続的な振興を行うためにも、地域発の創業を支援するとともに、ＩｏＴ等の新たな産業の活性化や、新たな働き方に合わせた環境を整備する必要があることから、商工会・金融機関などとも連携を図り事業承継や、新たに創業しやすい環境の整備を進めていきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・４町（粕屋町、篠栗町、久山町、新宮町）の行政と商工会で共同開催する創業塾に、町内から１０名が参加しました。また、２名が新たに創業しました。
- ・在宅ワーク等の新たな働き方に対応した就職支援講座を実施しました。
- ・Ｑでんにぎわい創業プロジェクトで相島活性化協議会と九州電力が共同開発した「相島海幸棒ずし」に続く商品の開発を検討しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
新規創業の 数（件）	—	2 (2)	2 (0)	4 (2)	5 (1)	7 (2)	3 (累積)	7 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－４ 農業の振興、農商工連携等に資する取組

本町の特性を活かした農業環境を充実させ、農業の活性化に取り組むため、付加価値の高い特産品などの開発や農業者の育成・支援に努めます。

また、荒廃農地などの利用促進を図るため、未利用農地の活用とともに、新たな担い手などの育成に努めます。さらに、子どもたちへの地産地消の意識付けのために、学校給食での地元食材の活用などの推進に努めます。

① 令和５年度取組の概要

- ・認定農業者協議会や県、農協などと連携して、鳥獣被害防止対策に関する研修会や、福岡県農林業総合試験場の視察を実施しました。
- ・有害鳥獣による農作物の被害を防ぐため、電気柵やフェンス設置などの支援を継続して行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
認定農業者数（人）	21	22	22	22	22	21	23	23
ひとまるの 里の売上高 （千円）	253,087	248,049	267,105	244,835	228,253	229,739	255,000	255,000
ふるさと納 税の返礼品 における農 作物の売上 高（千円）	270,000	311,000	411,700	392,463	484,413	479,424	300,000	479,000
有害鳥獣 被害額 （千円）	9,750	8,760	9,072	8,693	7,475	8,205	8,000	8,000
体験農園 の数（箇所）	4	4	5	5	5	5	5	5
農業法人 の耕作面積（a）	0	0	19	19	41	28	40	40

施策－５ 水産業の振興、農商工連携等に資する取組

相島における漁業経営の安定化をめざしつつ、漁業者の新しい漁業へのチャレンジを促進するため、漁協や漁業従事者と協議を進めながら、新たな漁業や直販などを検討するとともに、漁業の担い手の育成・支援にも努めていきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・国庫等補助事業を活用し、ウニやアワビの種苗放流による漁場の再生活動を行いました。また、いけま売りなどのイベントで、共同販売に対する支援を行いました。
- ・水産業を振興するための交流拠点の整備に向け、関係機関と協議を行いました。
- ・新規就業希望者と漁師とのマッチングを行い、担い手確保につながる支援を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
漁業従事者の所得（万円）	160	170	213	272	176	274	180	180
新規販路数（件）	—	—	1	0	0	0	2	2

＜基本目標２＞

地域への新しいひとの流れをつくる

施策－１ 将来的な UIJ ターンや地元の就業の促進に資する取組

地域の少子高齢化も大きな課題ではありますが、同世代の偏りが大きい地域でも将来、急激な高齢化の到来が懸念されます。将来を見据え UIJ ターンなどで地元での就業や定住につなげるため、郷土への愛着の醸成に取り組めます。

① 令和５年度取組の概要

- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動については、新型コロナウイルス流行前と同等の活動を実施できました。
- ・町広報誌やホームページだけでなく、新聞やフリーペーパー誌及びテレビ局と連携し、積極的に町の魅力を発信し、シティプロモーション実施数を伸ばすことができました。
- ・ふくおか町村フェア、西鉄電車まつり、アビスパ福岡フレンドリータウン応援デーなどにおいて、町内産品や観光PRを実施し、町の魅力発信を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
シティプロモーション実施数 (累計・件)	4	4 (4)	8 (4)	15 (7)	23 (8)	31 (8)	20 (累積)	40 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 関係人口づくりや、地方創生を担う人材・組織の確保に資する取組

本町には大型商業施設などがあり、週末には町外から多くの人を訪れています。また新たに住民になった人も多くいます。町内居住者に限らず、新宮町での消費活動・地域活動・サークル活動などを行う人々をさらに町内の取組に関わっていただく仕組みづくりを進めます。

① 令和５年度取組の概要

- ・おもてなし協会主催の新宮劇場や子ども向けの体験イベントしんぐうキッズ自然塾・探検隊をとおして、町内資源の掘り起こしを行いました。
- ・相島で活動する地域おこし協力隊員を新たに１名任用し、各種団体と協力しながら今後の取り組みに関する検討や活動を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
体験型イベント 参加者数 (人／年)	1,088	1,978	—※	—※	323	891	1,150	1,150
地域おこし協力 隊人数（人）	4	4	5	5	4	1	4	4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－３ 町内の人口減少地域(相島を除く)での定住促進や環境整備に資する取組

本町においては、国道３号東部の的野や立花口を中心とする人口減少が進む地域の地域活動の維持や活性化が求められています。そのため、幅広い世代の定住化に向けた仕組みや環境づくりに取り組むとともに、交流拠点の整備など地域の実情を踏まえた活性化や賑わいづくりの取組を進めます。

① 令和５年度取組の概要

- ・東京のふくおかよかとこ移住相談センターで町勢要覧や観光パンフレットを配布し、町のPRを行いました。
- ・民間企業が実施する30代～40代の結婚前後の結婚・移住希望者をターゲットに運営する結婚支援・移住サポートサイトに町の紹介記事を掲載しました。
- ・新宮町東部地区観光交流拠点施設「こみんかみかん」の利用促進のために、福岡オープンイノベーションプログラムへの参画や、ハンドメイド作品の販売等のイベントを実施しました。
- ・空き家の利用については、現状では町が直接空き家の利用斡旋等の取り組みを行っていないため、県が実施している福岡県空き家活用サポートセンター「イエカツ」の照会を行ったほか、自治体と連携して空き家対策事業を運営する民間事業者と意見交換を行い情報収集に努めました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
古民家交流拠点 来場者数 (人／年)	—	—	—	3,484	3,354	3,776	1,000	4,000
空き家の利用件 数(件)	—	—	—	0	0	0	2	2

施策－４ 相島における定住促進や環境整備に資する取組

相島活性化協議会を中心に、島の将来を見据えた「相島活性化プラン」の実現を島民との協働で進めるとともに、さらに地域振興につながる取組を進めていきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・相島の空き家の有効活用及び移住促進を図ることを目的に創設した補助制度について、移住者から申請があり、補助金を交付しました。
- ・お試し宿泊施設「stay house^{かし}橋」においては、274人の利用がありました。
- ・漁村留学においては、小学生14名、中学生8名を受け入れました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
空き家バンクマ ッチング件数 (件)	—	—	0	1	1	1	5	5

施策－５ 観光振興に資する取組

一般社団法人新宮町おもてなし協会を中心に商工会、農協、漁協などの関係団体と連携し、新たに開発された特産品や地元産品の販売などを通して観光PRを進めます。また、町内の自然、文化、産業などの資源や地域で活躍する人材を活用した観光イベントなどの実施を支援していきます。さらに、周辺市町と観光情報の発信やイベントを共催し、地元企業や町内活動団体との連携による観光振興を支援します。

① 令和５年度取組の概要

- ・体験イベント等の観光アクションプランに基づき、新宮町おもてなし協会と連携して集客・交流に取り組みました。
- ・相島積石塚群の史跡内に繁茂する雑草の伐採作業及び海岸からの飛散ゴミを除去し、遺跡環境の保護を行いました。横大路家住宅については、国指定文化財として活用するための今後の管理運営・修繕の計画を関係機関と協議しました。
- ・福岡都市圏事業の一環として糟屋地区共同で町の観光スポット及び飲食店を「シティ情報ふくおか」へ掲載するとともに糟屋特集の別冊版を発行しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
体験型イベント 実施事業所数 (所)	20	13	—※	—※	4	4	25	25
宿泊施設数 (件)	2	3	3	3	2	2	4	4
観光ガイド登録 者数(人)	0	0	0	0	1	0	5	5
観光イベント広 域連携数(件)	4	2	2	3	3	2	6	6
多言語案内実施 箇所数(箇所)	2	2	2	4	0	1	3	3

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

＜基本目標３＞

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

施策－１ 結婚に資する取組

比較的若年層が多い本町では、地域の担い手として地域に残り、また、定着してもらう必要があります。このため、結婚を希望する人たちの出会いを支援します。

① 令和５年度取組の概要

・福岡県出会い・結婚応援事務局が実施する福岡県出会い・結婚応援事業の応援団体に登録し、町広報誌で宗像・糟屋北部地域と連携した広域出会いイベントの案内を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
出会いの場 支援件数 (件)	1	2 (2)	3 (1)	5 (2)	7 (2)	8 (1)	3 (累積)	15 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 健やかな子育て支援に資する取組

妊娠から乳児期の親の負担軽減を図るため、安心して出産し、子育てができるよう、妊婦、乳児の健康状態の把握や必要な相談・指導を行うことができる体制を構築していきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・産前・産後サポート事業を実施し 15 回、89 組が利用しました。
- ・町内の校区ごとに担当の保健師を定め、妊娠届が出されたときから、一元的な要支援妊婦に対する支援計画を立案・実施し、継続支援を行いました。また、乳幼児健診の未受診者に対しては、要保護児童担当と連携して対応し、フォロー率を維持することができました。
- ・かんがる一ひろばについては、8 月以降に新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための制限を解除し、令和４年度より利用者が増加しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
乳幼児健診未受診児のフォロー率 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100
かんがる一ひろば利用者数 (人)	15,472	14,344	4,677	3,254	6,174	7,981	14,000	14,000

施策－３ 子育て支援に資する取組

共働き世帯やひとり親家庭の増加など、新たな幼児教育・保育ニーズに的確に対応するとともに、就学前の子どもたちの健やかな成長と良好な子育て環境を充実していきます。また、子育てに関する負担などから就労等を断念する事がないよう、保育所等の充実を図ります。

① 令和５年度取組の概要

- ・病児保育の広域利用について、宗像市、福津市、古賀市、新宮町の６施設で広域利用が可能となりました。
- ・６月から子育て支援アプリ「ぐーまっち！」の提供を開始し、子育てに関する情報提供や各種教室や面談などのオンライン予約、予防接種ＡＩスケジューラーなどＩＣＴを活用した継続的なサポートができるようになりました。
- ・児童虐待予防・早期発見のために、児童相談所や警察、学校との連携を図りながら情報共有を行うとともに、町広報誌への掲載やのぼり旗の設置、啓発物品の配布など啓発活動も行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
保育所待機児童 数（人）	35	21	43	18	0	0	0	0
ファミリーサポ ート 会員数（人）	260	329	320	317	319	357	330	380

施策－４ 義務教育期間の子育て支援に資する取組

教育・学童保育に関する保護者のニーズを的確に把握しながら、教育・学童保育環境を向上させていくとともに、子育てに関する情報共有や悩みを解決するため、地域での子育てを支援します。

① 令和５年度取組の概要

- ・通学路について、関係機関と現地調査を実施し、危険箇所の現状と今後の整備方針等について情報を共有し、危険箇所の改善・整備を進めました。
- ・こども体験クラブを４回実施し、相島での積石塚群・真珠養殖場の見学や宿泊を伴う野外活動などを通して、町内に住む子どもたちの交流を深めることができました。
- ・ジュニアリーダーの活動については、子どもリーダー研修会での運営サポート、通学合宿の実施やまつり新宮への出店、スポーツ交流会への参加に加え、歓迎会や防災に関する研修会の企画を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
通学合宿実施箇所数（箇所）	6	6	—※	—※	2	5	8	8
ジュニアリーダー等活動回数（回）	12	12	1	4	12	12	15	15
学童保育所待機児童数（人）	57	53	45	5	52	43	0	0
就学援助支給基準（倍） ※生活保護基準をベースとする	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－５ 男女、多文化な人材がともに参画し支え合う環境づくりに資する取組

女性の社会進出が進む中、自らの意思・選択に応じて働くために、労働環境や職場風土など、働きやすい環境づくりや女性の再雇用について推進していくとともに、働く人々が仕事と家庭の両立ができる環境づくりを支援していきます。

また、外国人が増加することが見込まれることから、お互いの文化を尊重した地域社会の創造に努めます。

① 令和５年度取組の概要

- ・まつり新宮での啓発物品の配布や強調月間における横断幕の設置、企業内人権・同和問題研修推進会議に情報提供を行うなど、男女共同参画の啓発活動を行いました。
- ・産前カフェ会をパートナーと参加ができる内容として３回実施し、１４名の参加がありました。また、ハロー！ベビー教室（パパママ教室）を６回実施し、男女合わせて９９名の参加がありました。
- ・障がい者が就労しやすい環境づくりの支援として、令和５年度は福津市・古賀市・新宮町障害者地域支援ネットワーク協議会の就労支援部会で、模擬合同面接会と支援者向けセミナーを実施しました。
- ・専用のタブレットで通訳サービス（１３カ国語、手話通訳）を受けられる民間事業を利用し、窓口での説明に活用しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
町内企業への男女共同参画啓発件数（件）	2	—	0 (0)	0 (0)	3 (3)	5 (2)	7 (累積)	9 (累積)
町民への男女共同参画啓発件数（件／年）	0	—	2	3	5	4	1	2
男性のパパママ教室参加者数（人）	48	36	32	39	51	48	55	60

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

＜基本目標４＞

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策－１ 高齢者の就労や活動参画など生涯活躍に資する取組

定年後も、健康で自立した生活を送りたい高齢者の就業や、地域活動への参画を支援し、生涯活躍のまちづくりを進めます。また、ひとり暮らしの高齢者などへの声かけや、健康教室などの行事への機会を提供し、社会参加を支援します。

① 令和５年度取組の概要

- ・就業の機会を提供し、高齢者の生きがいづくりや地域貢献の活性化を図ることを目的としているシルバー人材センターに継続して助成金を交付しました。また、町広報誌にシルバー人材センターに関する記事の掲載や、65歳到達時の介護保険被保険者証交付会資料郵送と併せてシルバー人材センターへの加入を促すチラシの配布など、加入促進を図る取り組みを行いました。
- ・住民主体の通所型サービス13団体に対して、助成を行いました。また、地域サロンや介護予防教室などの通いの場が通常どおりの開催となり、サポートポイント対象事業が増加し、介護予防活動の参加人数も昨年度より増加しました。
- ・生涯現役チャレンジセンター（旧70歳現役応援センター）やはつらつコミュニティなど高齢者の就労を応援する団体に関するチラシの設置や講演会の開催を町広報紙で紹介しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
シルバー人材センター会員稼働率（％）	100	90	90	93	92	88	100	100
介護予防活動の参加人数（人）	943	924	518	455	461	666	1,000	1,000

施策－２ スポーツ等の健康まちづくりに資する取組

「スポーツ推進（振興）計画」の策定を進め、健康でいきいきと活動できる機会や場の提供をしていきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・ヘルシーウォーク&さわやか軽スポーツを実施し、ウォーキングに加えグラウンドゴルフ、ペタンクの２種類の軽スポーツ体験を行いました。
- ・アビスパ福岡フレンドリータウン応援デーを町スポーツ協会所属のジュニアサッカー団体、中学校サッカー部、新宮高校サッカー部と連携して開催しました。また、新たにライジングゼファーフクオカと連携協定を締結し、講師派遣依頼を行い町内ジュニアスポーツクラブの指導者・保護者に対して研修会を実施しました。
- ・スポーツ振興くじ助成金を活用し、ふれあいの丘公園グラウンドに夜間照明を設置しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
プロスポーツチーム連携事業数 (件)	—	—	1	1	1	2	3	3
ウォーキングイベントの参加者 数（人）	471	470	—※	—※	281	309	500	500

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－３ 防災・防犯等の安心して暮らせるまちづくりに資する取組

近年の局地的集中豪雨などの大規模な自然災害の発生を踏まえ、災害に強いまちづくりを行うため、地域防災計画や防災マップ（ハザードマップ）を適宜見直し、住民の安全確保や支援に取り組んでいきます。また、定期的な防災訓練や自主防犯活動などを支援するとともに、防災・防犯の体制づくりや施設の整備・改修を計画的に実施していきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・消防活動の充実を図るため、防火水槽の修繕や消防用ホースの更新を行いました。また、消防団員確保のため、啓発物品の配布や消防団広報誌の全戸配布を行いました。
- ・防災専門官による地域での防災講話を９行政区で実施し、230名の参加がありました。
- ・安全安心まちづくり推進協議会を設立し、町内防犯団体や警察等関係団体との連携を強化しました。また、既存防犯灯のＬＥＤ化や新規設置を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
自主防災組織の数 (団体)	7	7	8	11	12	12	12	14
消防団員数 (人)	238	238	239	240	226	223	246	246
自主防犯団体の組織数 (団体)	3	3	3	3	3	4	6	6

施策－４ 地域コミュニティの維持や、まちづくり活動の活性化に資する取組

今後のまちづくりを進めるに当たり、新興住宅地区や高齢化の進む地区などの地域の特性を踏まえたコミュニティの在り方について検討し取り組んでいきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・まちづくり活動支援団体、ボランティア・NPO団体の数は、ともに１団体の登録取り消しがありましたが、ホームページや町広報誌でまちづくり活動支援事業募集の記事を掲載し、２団体が新規に登録されました。
- ・地域の代表者で構成する行政区長会において、４回の会議と先進地視察研修を開催し、意見交換などをおして地域コミュニティのあり方についての検討、協働のまちづくりの必要性の意識を高めました。
- ・文化財案内ボランティアなどの人材発掘・育成のため、相島の史跡をめぐる文化財ウォークを開催し、１３名の参加がありました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
まちづくり活動 支援団体登録数 (団体)	23	20	21	20	21	22	30	30
協働のまちづく り研修参加人数 (人)	103	123	—※	—※	0	0	150	150

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

施策－５ 自然環境の保全やSDGs等の持続可能な社会づくりに資する取組

地域住民、関係団体、行政などの協働による保全活動を積極的に推進していくとともに、自然環境を活用した環境整備を検討し推進します。

① 令和５年度取組の概要

- ・雨天のため新宮町クリーン作戦の海岸清掃は中止となりましたが、行政区、企業、ボランティア団体による16団体が清掃活動を42回実施しました。
- ・松林保全活動については、計画していた7回の活動のうち3回が荒天のため中止となりましたが、近隣の行政区を対象とした楯の松原感謝デーや新宮中学校白砂青松タイムなど、筑前新宮に白砂青松を取り戻す会と協力し松林の整備を行いました。
- ・森林の持つ公益的機能を十分に発揮させるため、福岡県の荒廃森林整備事業を活用し、原上区、立花口区内にある15年以上整備されていないスギ・ヒノキ林に対して森林の荒廃を防ぐための整備を行いました。
- ・まつり新宮において、環境課題に対するパネル展示などを行い、SDGsを含め環境に関する啓発を行ったほか、第2次新宮町環境基本計画を策定し、SDGsを関連づけた今後の取り組みを示しました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
新宮町クリーン作戦参加者数（人）	2,200	1,900	130	220	260	90	2,400	2,400
松林保全活動参加者数（人）	833	752	107	184	468	299	840	840
森林整備面積（ha）	46.1	14.27 (14.27)	25.37 (11.10)	32.61 (7.24)	40.06 (7.45)	44.81 (4.75)	130 (累積)	135 (累積)
SDGs啓発回数（件）	—	—	4 (4)	5 (1)	8 (3)	12 (4)	5 (累積)	16 (累積)

※新型コロナウイルス感染症や雨天により中止したため「—」で表記。

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－６ 地域交通等のインフラの維持や最適化に資する取組

利用者ニーズや外国人の来訪を踏まえながら、最適で安定したバスや渡船の運行、利用しやすい公共交通機関としての環境整備に取り組んでいきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・コミュニティバスについては、バス停の修繕にあわせローマ字表記を追加しました。また、バス車内と主要なバス停に、多言語によるバスの乗り方の表示を設置しました。渡船においては、新宮中学校相島分校の生徒による外国語によるアナウンスを行いました。
- ・高齢者運転免許証の自主返納事業では、64件の支援を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
案内表示の多言語化実施件数 (件)	—	—	3	3	4	2	10	10
西鉄新宮駅乗降 客数 (人／日)	1,422	1,428	1,172	1,222	1,364	1,464	1,600	1,600

施策－７ 地域におけるＳｏｃｉｅｔｙ ５．０の推進に資する取組

産業構造の変化に柔軟に対応できるよう、本町の産業への情報提供などを進めるとともに、行政の機能も新たなサービスなどに対応し利便性のよい仕組みの導入などを進めていきます。

① 令和５年度取組の概要

- ・新たにＣｈａｔ ＧＰＴを導入し、情報収集や議事録作成などに活用しました。
- ・地域活性化企業人制度を活用し、ＡＫＫＯＤｉＳコンサルティング株式会社から社員が１名派遣され、町内におけるＩＣＴの活用やＤＸを推進しました。
- ・立花小学校と相島小学校では、福岡工業大学との包括的連携に関する協定に基づき、プログラミング教育のベースとなる論理的思考や最適化・統計に関する体験授業を行いました。

② 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
オープンデータ データセット数 (件)	4	4	4	5	5	5	10	10
未来技術活用事 例件数 (件)	—	—	1 (1)	4 (3)	4 (0)	5 (1)	5 (累積)	5 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。